踊る地平線

附記

谷譲次

青空文庫

旅から帰って、はじめて郷国の真価値がその額面通りに買い得るというものだ。今の僕がそれである。もう、実を言うと原稿なんかどうでもいいんで、ただやたらに日本の着物を着て、たたみに寝ころんで、好きな日本の食物を並べておいて、片っ端から食べていたいだけだ。下素だが、真情だから仕方がない。が、この二、三日、半夜孤座して、持ち帰った荷物の整理をしている。すると、実に下らない色んなものが出て来るんだが、それが、僕の嗅覚へぷうんと「あ・ち・ら」のにおいを送って、どうかすると、倫敦（ロンドン）の雪、巴里（パリー）の雨なんかと独りで遊子ぶったりすることもないではない。僕にとっては、洋服のしみ一つにも、忘れられない思い出が蔵されているかも知れないのだ。

とにかく、一年にわたる「新世界巡礼」は、ここに諸君の御後援によってＥＮＤを全うするを得た。帰来僕は、一そう印象の沈澱するを待って、亜米利加（アメリカ）風に言えば「古い町（バアグ）に鼠（ラッツ）を起し」てやろうと待ち構えてるだけだ。

一年の間あちこち僕達について来て下すった読者諸君に、この機会に厚くお礼を申し上げたい。そして特に、終始一貫、有形無形に多大の援助を賜わった中央公論社長島中雄作氏に、僕は心からなる感謝と握手の手を差し伸べる。

僕の知人に偉大な文化人がある。彼は、夕刻帰宅すると玄関へ出迎える細君へ向って大喝一声するのだ。「ＮＯＷ！」と。

けだしこのＮＯＷは「只今（ナウ）！」の意であろう。
で、新帰朝者の僕たるもの、一つ英語で諸君に御挨拶しなければなるまい。
そこで、大きな声で、
『ＮＯＷ！』

新緑の鎌倉にて

譲次

青空文庫情報

底本：「踊る地平線（下）」岩波文庫、岩波書店
　　1999（平成11）年11月16日第1刷発行
底本の親本：「一人三人全集　第十五巻」新潮社
　　1934（昭和9）年発行
※底本には、「新潮社刊の一人三人全集第十五巻『踊る地平線』を用いた。初出誌および他の版本も参照した。」とある。
入力：tatsuki
校正：米田進
2002年12月9日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

踊る地平線
附記

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

著者　　谷譲次
URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/